

森の風憶の記

vol.109

ぎやあ祭の打ち上げ花火

令和7年度 秋号(通巻109号)

10月16日発行 まちむら応縁俱楽部 Mori no Kaze no Kioku



料金 大人:5,000円/人
子ども:4,000円/人
村民・特別会員500円割引
(昼食代・ガイド代・体験料込)

定員 最少4名～最大10名

申込は、開催1週間前まで！

諸塙でやま学校しよう！

「やま学校」とは、学校に行ったフリして山で遊ぶこと。エコツアー「諸塙でやま学校しよう！」は、そんな山学校からヒントをもらいながら、豊かな自然と、そこに生きる人々の暮らしの姿にふれる旅になっています。

世界農業遺産にも認定された森の暮らしを心と体を使って実体験する、諸塙ならではの旅に出かけませんか？

お申込・詳細は「諸塙村観光協会」まで！

☎ 0982-65-0178(しいたけの館21内)

<https://www.morotsuka-tourism.jp/>



11月22日(土)

11月15日〆切

柚子ちぎりと柚子ごしよう

data

香りのよい柚子を収穫して、何にでも使える柚子ごしようを作りましょう！味噌と並ぶ諸塙の調味料、柚子ごしよう。家庭の味と一緒に作りませんか？

集合:10時 しいたけの館21

解散:15時頃

会場:森の古民家

「やましきの杜」



12月14日(日)・1月18日(日)・2月14日(土)

各1週間前〆切

旬の原木しいたけ収穫と しいたけピザ

data

冬の楽しみ、しいたけ狩り！原木から上手に収穫出来たときの喜びは格別です。採れたてのしいたけをピザにして舌鼓！

集合:10時 しいたけの館21

解散:15時頃

会場:農家民宿「新家」



やま学校日記



8月23日(土)・24日(日)開催

夏のやま学校ぱらっと

「幸せを得る花」キレンゲショウマに会いに行く夏の黒岳登山

参加者:2日間合計15名 会場:黒岳周辺

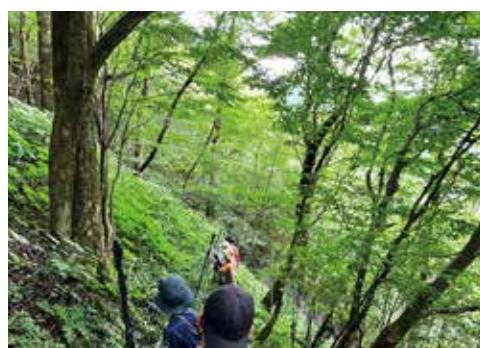
県内からはもちろん、福岡・熊本・鹿児島からもご参加いただいた今回。

未だ台風被害の残る黒岳では、昨年と同様に湧水地より林道歩行するコース。約3km(歩行時間1時間ほど)の林道で登山口を目指します。

杉の植林地を歩き杉林を抜けると、昨年建て替えたばかりの黒岳神社に立ち寄り、山頂までの道中でお昼休憩。七ツ山婦人加工グループの準備した特製お弁当です。山頂登頂後は記念撮影を行い下山。

最後に保護エリア内に入りお待ちかねの希少植物の観察。鹿の食害から守るためネットを張り巡らされた保護エリアは、通常は入れない貴重な場所です。キレンゲショウマはエリアの一番下側に多く残っていました。希少植物の観察や写真撮影の後は思い出を胸にいざ登山口まで下山。登山口から林道を歩いて下りて車で帰路へ。

地元加工グループによるお弁当やお団子は大好評で、帰宅途中にある黒岳会の加工場に立ち寄らせていただきお土産としてもお団子を購入しました。



秋のやま学校ぱらっと

秋の味覚を先取り!! 栗ひろい

参加者:8名 会場:森の古民家「桜のつぼね」

9月7日(土)開催

黒葛原地区の奈須隆生さんを世話人としてお迎えし、奈須さん所有の栗園にて各自火ばさみを持ち栗ひろいスタート。

落ちているイガイガ状態のものやツヤツヤの栗を一粒ずつ丁寧に拾い上げかごに入れる。かごの中がいっぱいになったら軽トラに移し、また拾いに。皆さん無我夢中で栗ひろいを楽しまれていました。

軽トラのかごがいっぱいになったところで待ちかねの昼食タイム。古民家「桜のつぼね」に移動し、どんこ亭特製の「めんぱ弁当」をいただきます。諸塙のなば(しいたけ)をたくさん使った料理は大好評でした。

休憩が終わったら選別作業の体験。形や色を見分けたり、傷のチェックをしたり…栗ひろい同様、夢中になってしまう作業です。

自分たちが収穫した分の選別作業が終わったらティータイム。

最後は今回収穫した栗を各自1キロずつお土産として持ち帰り、さらに追加で購入してくださった参加者の方もいらっしゃいました。



記憶を紡ぐ

あの日の1枚

このコーナーでは、まちの人とむらびとが繋がり紡いできた諸塙村の観光・交流の足跡を写真からたどっていきます。読者の皆さんからのお写真投稿も歓迎します。



1986年 3月23日

諸塙山山開き

第1回のテープカット

1985年に諸塙村が朝日森林文化賞を受賞したことをきっかけに、1986年から開催を重ねてきた「諸塙山山開き」。今年の開催で通算40回を数え、九州各地から登山者が集う恒例行事となりました。

記念すべき第1回は3月下旬だというのに雪の中での開催でした。近年では恒例となった丸太をきる“ウッドカット”的セレモニーもまだ行われてはいません。

【諸塙山フォトコンテスト開催中】

諸塙山山開きの40周年を記念して、フォトコンテストを開催中! 募集期間は、12月5日まで。これから紅葉の季節を迎えます、秋の諸塙山に出かけてみませんか。
<https://www.morotsuka-tourism.jp/2025photocontest/>



宿泊施設 からの
おたより



冬休み・年末年始の休業期間について

寒さの厳しい諸塙ですが冬の澄んだ空は星を綺麗に見ることができます

また、薪ストーブや囲炉裏で暖を取ったり、お料理をしたり冬ならではの楽しみ方も♪

ご予約・お問い合わせはしいたけの館21(TEL:0982-65-0178)まで

池の窪グリーンパーク・諸塙山渓流の里は「もろつかナビ」からもご予約いただけます。

森の古民家シリーズ・農家民宿「新家」は管理人の都合や地域行事等で休業日以外でもお断りする場合があります。

休業日:毎週水曜日、12月28日(日)～1月4日(日)

池の窪グリーンパーク・諸塙山渓流の里は「もろつかナビ」からもご予約いただけます。予約・お問い合わせは全てしいたけの館 21 ☎0982-65-0178



- 1 会費納入に御礼申し上げます
- 2 「高見乾司の神楽スケッチ／九州脊梁山地・神秘の神楽紀行 諸塚編」
- 3 MOROTSUKA WELLNESS TOUR 2025 AUTUMN

2025

会費納入に御礼申し上げます

今年度も村内各世帯や法人・各種団体から総額648,000円(9月20日時点)の会費を納入いただきました。ご理解・ご協力誠にありがとうございます。皆様よりお預かりした会費は観光情報発信や地域の観光資源の保全・開発のために大切に活用させていただきます。

10/10-11/9 fri-sun

諸塚神楽の良さを知る 「高見乾司の神楽スケッチ／ 九州脊梁山地・神秘の神楽紀行 諸塚編」

期日:2025年10月10日(金)～11月9日(日)

会場:しいたけの館21 1階ライプラリーコーナー

時間:10:00～17:00 水曜休館 入場無料

画家・民俗仮面研究家として活動する高見乾司氏が30年余り諸塚村ほか九州脊梁山地の各集落の神楽に通って描き上げた絵画を展示します。

高見氏のギャラリートーク

10月13日(月・祝) 13:30スタート



ようやく秋らしい気候になりましたね。とにかく暑い暑いの夏でした。その中で台風が来ない事は助かりました。稻も順調に育っています。実りの秋、爽やかな秋を皆さん愉しんでください。

尾形

消防団と寿会で初期消火の訓練を行いました。自分達の地域は自分達で守る。皆、積極的でとても有意義な時間でした。

黒木

1年間の育休期間が明け職場復帰。人見知りの娘は1歳から保育所へ。最初は大泣きで早く慣れて欲しいと思っていましたが、たった数日で先生に懐き自分から手を伸ばすように。嬉しい反面少し寂しい複雑な気持ちです。

山崎

ライブに旅行、買い物したり山に行ったり、たくさん楽しんだ夏でした。終わってしまって少し寂しい気持ちです。もうすぐ諸塚に来て1年。早いなあ～。これからもよろしくお願いします!

谷

「防災」の意識、みなさん日頃からお持ちですか?熊本地震被災経験を契機に、「防災」に対する意識が強くなり現在「防災士」養成研修を受講しています。地域の自主防災のお役に立てばとの思いです。

福田

お申込・詳細は「もろつかナビ」もしくは「諸塚村観光協会」まで!

＼情報発信中!／

もろつかストア
(旧 Twitter)
Instagram / YouTube
facebook



〒883-1301

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068
しいたけの館21内

一般社団法人諸塚村観光協会

☎ 0982-65-0178 FAX:0982-65-0189

<https://www.morotsuka-tourism.jp/>



せんと、
つながる。



諸塚村
Morotsuka Vill.

世界農業遺産
高千穂郷・椎葉山地域
GIAHS Takachiho・Shibayama